

茨城県からエゾイトトンボ（トンボ目，イトトンボ科）を初記録

後藤日出人*・二橋 亮**,***

(2015年10月20日受理)

**The First Record of *Coenagrion lanceolatum* (Selys, 1872)
(Odonata, Coenagrionidae) from Ibaraki Prefecture**

Hideto GOTO* and Ryo FUTAHASHI**,***

(Accepted October 20, 2015)

Key words: Odonata, *Coenagrion lanceolatum*, Ibaraki Prefecture.

エゾイトトンボ *Coenagrion lanceolatum* (Selys, 1872) は、イトトンボ科 (Coenagrionidae) に属する北方系のイトトンボで、日本では北海道から福井、岐阜にかけて分布するが、太平洋側では福島県が南限となっており、茨城県からはこれまで未記録であった (尾園ほか, 2012)。筆者らの一人、後藤が本種を常陸太田市で採集したので報告する。

常陸太田市里川町, 1♂, 20150712, 後藤日出人 (図1)

本種は里川町の岡見地区に存在する湿地で多数のオゼイトトンボ *Coenagrion terue* (Asahina, 1949) に混じって見られたもので、採集個体以外には確認できなかった。また、後藤は翌週も同地を調査したが、追加個体は記録できなかった。現在のところ近隣では生息地は知られておらず、周囲に発生地があるかが今後の課題である。なお、採集個体は、腹部第2節のスポット斑がやや退縮しており半月型に近かった。二橋は、念のため Futahashi and Sasamoto (2012) と同様な手法で、核 DNA (ITS1, 5.8SrRNA, ITS2) およびミトコンドリア DNA (16SrRNA, COI) の解析を行ったが、これらの解析からもエゾイトトンボであることが裏付

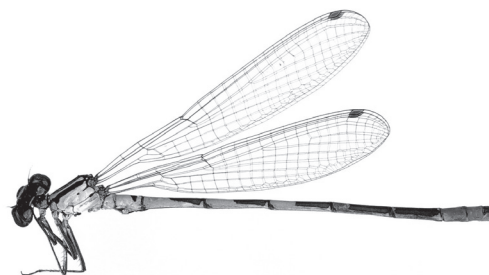


図1. 茨城県産エゾイトトンボ♂ (常陸太田市里川町, 20150712, 後藤日出人採集)。

Fig. 1. A male of *Coenagrion lanceolatum* recorded from Ibaraki Prefecture (collected by H. Goto on July 12, 2015 in Satogawa-cho, Hitachiota City).

けられた (図2)。決定した DNA の塩基配列は DDBJ/EMBL/GenBank データベースに登録した。茨城県からは、これまでに 91 種のトンボが記録されていたので (二橋ほか, 2012; 廣瀬, 2013; 渡辺, 2013), 本種

*自宅 〒305-0051 茨城県つくば市二の宮 2-10-19 (2-10-19 Ninomiya, Tsukuba, Ibaraki 305-0051, Japan).

**独立行政法人 産業技術総合研究所 〒305-8566 茨城県つくば市東 1-1-1 (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, 1-1-1 Higashi, Tsukuba, Ibaraki 305-8566, Japan).

***ミュージアムパーク茨城県自然博物館総合調査調査員

は県内で 92 種目となる（明らかな移入種と思われるリュウキュウベニイトトンボを除く）。なお、標本はミュージアムパーク茨城県自然博物館が保管している。

引用文献

Futahashi R. and A. Sasamoto. 2012. Revision of the Japanese species of the genus *Rhipidolestes* (Megapodagrionidae) based on nuclear and mitochondrial gene genealogies, with a special reference of Kyushu-Yakushima population and

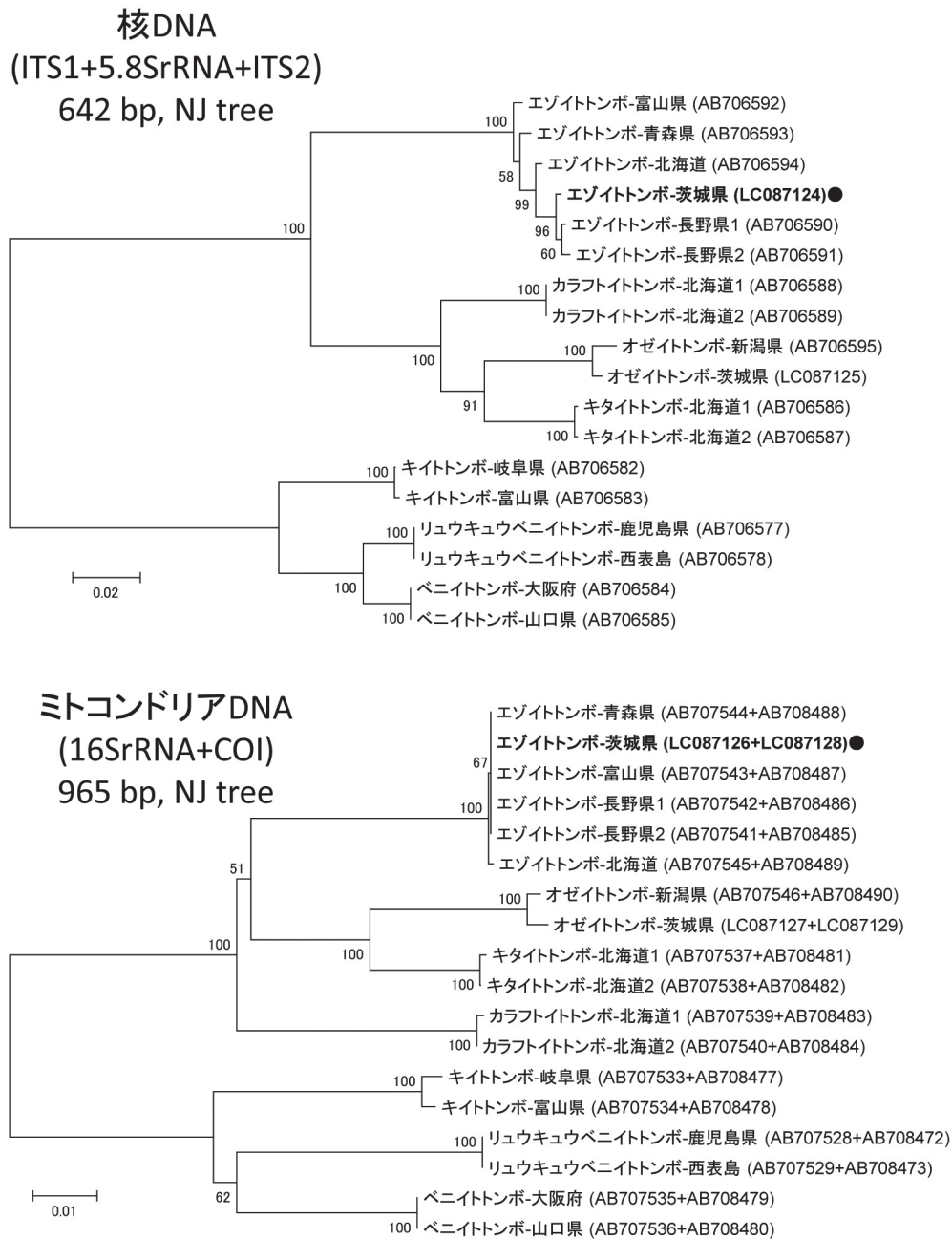


図 2. エゾイトトンボ属の核 DNA (上) およびミトコンドリア DNA (下) に基づく NJ 法による分子系統樹。数字はブートストラップ値。茨城で採集された個体の結果を黒丸で示す。キイトンボ属を外群に用いた。カッコ内にアクセッション番号を記した。

Fig. 2. Molecular phylogenetic tree of a *Coenagrion* based on nuclear DNA (above) and mitochondrial DNA (below) drawn by the neighbor-joining method. The numbers at the tree nodes represent the bootstrap values. *C. lanceolatum* collected in Ibaraki Prefecture is indicated by filled circles. *Ceriagrion* species were used as outgroups. Accession numbers are shown in parentheses.

- Taiwan-Yaeyama population. *Tombo*, **54**: 107-122.
- 二橋 亮・山中武彦・植村好延・久松正樹. 2012. 茨城県におけるトンボ目の採集・撮影記録. 茨城県自然博物館研究報告, (15): 13-38.
- 廣瀬 誠. 2013. トンボ目. 茨城県自然博物館総合調査報告書 2012年 茨城県の昆虫類およびその他の無脊椎動物の動向. pp. 11-12, ミュージアムパーク茨城県自然博物館.
- 尾園 暁・川島逸郎・二橋 亮. 2012. ネイチャーガイド 日本のトンボ. 532 pp., 文一総合出版.
- 渡辺 健. 2013. トンボ目. 茨城県自然博物館総合調査報告書 2012年 茨城県の昆虫類およびその他の無脊椎動物の動向. pp. 13-14, ミュージアムパーク茨城県自然博物館.

(キーワード): トンボ目, エゾイトトンボ, 茨城県.